

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

北海道福島町
が応援するふるさと名物

養殖真昆布を活用した商品群

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言!!

平成31年3月6日

北海道福島町

地域の
プロフィール

北海道福島町

福島町は、北は秀峰大千軒岳、南は紺碧の津軽海峡に面し、海岸は奇岩・怪岩の絶景が続く岩部海岸を有する自然豊かな町です。

開基は、文治5年(1189年)源頼朝の奥州征伐の際、敗れた奥州藤原氏の残党が津軽から逃げ渡り定住したのが始まりといわれ、道内初の漁師が定住したのも福島町で、町内白符地区が「ニシン漁発祥の地」とされており、今でも漁業と水産加工業が町の基幹産業となっています。

漁業は、イカ、マグロ、ホッケ等の漁船漁業が主体でしたが、最近では安定した水揚量が望める昆布養殖業が主体となっています。また、水産加工業では「スルメ」の生産量が全国トップクラスを誇り、その味は折り紙つきです。

主な地域資源

◆養殖真昆布

福島町の昆布は、そのほとんどが養殖で生産されており、町内の水揚げ高の6割以上を占める主力水産物です。

自然豊かな津軽海峡の海で、丹精込めて育てられた真昆布は甘みが強く、主に出汁昆布として広く料理に利用されています。

また、春先に採れる「やわらか昆布」は若い昆布なので柔らかく、様々な料理に使うことができます。



春の若い昆布



養殖施設



コンブ干しの様子

ふるさと名物「養殖真昆布を活用した商品群」

福島町で生産される真昆布は、そのほとんどが高級出汁用昆布として関西方面へ出荷されています。

また、春先に間引かれる若い昆布は、「やわらか昆布」「千切りこんぶ」や惣菜・サラダなど「食べる昆布」として様々な商品になっています。



福島町独自の支援策

◆がんばる地元企業等応援条例

平成29年4月1日から施行した「福島町がんばる地元企業等応援条例」に基づき、町内ほぼすべての業種を対象に企業施設の設備投資や雇用者の拡大、事業の継承及び確保を図る事業他に対し、補助金を交付しています。

◆産業活性化サポート事業

町内で活動する企業・団体等が、産業の振興・活性化のために実施する研修会、新製品の開発、製品PR、観光振興に関する事業や起業による地域資源を活用した事業、6次産業化を促進する新たな事業等を実施する場合に経費の全部又は一部を助成しています。

◆地元産品のPR

観光協会等と連携し、地元をはじめ、北海道内・首都圏等で開催されるイベントに積極的に参加し、地元産品のPRを行っているほか、ふるさと納税の返礼品として活用しています。